



つながろう

CO・OPアクション情報

2011年11月24日

第7号

◆組合員さんの声が 大きな励みに



(「コープフェスタ 2011」参加)
水野食品株式会社
専務取締役 水野 茂氏

震災当日、石巻市にある水産物加工工場は7mの津波に襲われ、1階にあったものは全てが流されてしまいました。しかし、製造用の機械を置いていた2階部分はろうじて残ったので、余震の続く中、復旧工事を始め、11月から製造を再開することができました。

まだ生産量は被災前の10分の1程度ですが、少しずつ進めたいと思います。

組合員さんからは「待っているよ」というメッセージをたくさんいただき、大きな励みになりました。

生協さんとは30年近いお付き合いで、会社は組合員の皆さんに育てていただきました。ご縁があって本当によかったと思っています。

この石巻で初心に帰り、よりおいしいものを頑張って作っていきます。引き続きよろしく願い申し上げます。

笑顔がつながり、10万人が来場

～さいたまコープなど4団体が震災支援イベント～



双葉町婦人会のふれあい茶屋。約2時間半で、すべて完売した。

11月5日と6日、東日本大震災復興支援を目的に、「コープフェスタ 2011 つなげよう笑顔」（主催：さいたまコープ、コープネット事業連合）、「健康フェスタ」（主催：医療生協さいたま）、「国際フェア 2011」（主催：（財）埼玉県国際交流協会）、「埼玉物産観光フェア」（主催：（社）埼玉県物産観光協会）がさいたまスーパーアリーナで同時開催され、2日間で約10万人が訪れました。

「コープフェスタ 2011 つなげよう笑顔」の「再会と交流 復興支援ゾーン」では、東北3県の県産品の試食販売などのほか、「ふれあい茶屋」も登場。埼玉県内で避難生活を送る福島県双葉町の婦人会の皆さんが、郷土料理「イカにんじん」や柏餅を販売し、好評を博していました。また、会場内のステージでは、各地から集まった福島県の皆さんによる民謡や踊りも披露されました。

双葉町の井戸川克隆町長は「たくさんの方々に来てくださり、感謝しています。本当に素晴らしいイベントで、コープさん、埼玉県の皆さんのパワーを感じました。今日の感謝の気持ちを私たちの町の再建につなげたいです」と話されました。



「温もり応援隊」による手編みの靴下カバーほか。

手編みの靴下カバーで心からの支援

会場では、双葉町に北海道岩見沢市の「温もり届け隊」の皆さんが編んだ靴下カバー500足も贈られました。この取り組みには、さいたまコープ、埼玉県ユニセフ協会、ジェイアール東日本商事が、被災された方へのお届けに協力しています。今後は、全国の参加希望者に編み針と毛糸を送り、編んでもらう計画です。

◆南昌荘を皆さんの交流の場に



いわて生協 「南昌荘」担当
牧野 典子氏

震災で岩手県沿岸部は大きな被害を受けました。内陸部は直接の被害は少なかったため、ご家族や大切なものを失った被災者の方々に何かしたいと思っています。しかし、さまざまな事情で実際に現地に足を運ぶことができないのも事実です。そこで、南昌荘でチャリティーコンサートを開き、その収益を寄付して支援活動に役立てていただこうと考えました。

盛岡市の保存建造物・保護庭園である南昌荘は、いわて生協（旧・盛岡市民生協）が組合員・市民の皆さんの共有財産として1987年に購入したものです。

コンサートの前日（11月10日）に、開館以来の来場者が20万人を超えました。

南昌荘のような歴史的建造物を日々の生活に役立てていただくことも大切だと思います。

これからも交流の場として使っていただけよう頑張りませう。

発災から8カ月、岩手・宮城でコンサート開催

いわて生協

いわて生協は、11月11日に盛岡市の南昌荘で「彩りの庭園に流れる二胡の調べ がんばろう！いわて チャリティーコンサート」を開催しました。このコンサートは、来場者が、被災地への復興支援に参加し、かつ自身も癒される企画として開催されたものです。

矢巾町在住の二胡奏者・陳 為（チンイ）氏を迎え、昼・夜の二部制で行なわれました。収益の一部は東日本大震災支援募金に寄付されます。来場者たちは、昔懐かしい建物と、庭園の景色を味わいながら、コンサートに耳を傾けていました。

組合員の工藤和子さんは、「今日のコンサートはチャリティーだと聞いて、友達を誘って参加しました。震災のあと、私も気分がふさがちでしたが、全国からたくさんの方が被災地を訪れてボランティアとして働いている姿を見て、元気づけられました」と話していました。



二胡の音色と庭園の風景に心が癒される。



美しい南昌荘の外観。



開演前には、全員で黙とうを捧げた。



ホールに二胡の音色が響き渡る。

みやぎ生協

みやぎ生協は、11月11日に仙台市の東北大学百周年記念会館川内菽ホールで「チェン ミン LIVE」を開催しました。みやぎ生協では東日本大震災以降、毎月11日に復興支援のためのさまざまなイベントを県内各地で行なっています。

今回は二胡奏者のチェン ミン氏のライブが行なわれ、全壊・半壊の罹災証明書を持参すると無料で鑑賞できました。また、沿岸部に住んでいる方への無料送迎バスも運行されました。

仙南ボランティアセンターの森浩子さんは「今後の不安から仮設住宅に閉じこもってしまったり、心や体に不調をきたしたりという人も増えてきています。今回のライブのような、さまざまなイベントが、多くの方が立ち直るきっかけになるとよいですね」と話していました。

◆リレー寄稿

生協の支えが大きな力に



あいコープふくしま
理事長 佐藤 孝之氏

8カ月間は、あっという間でした。東京電力福島第一原発事故による深刻な放射能汚染は全く解決されておらず、復旧も復興も全く進んでおりません。浜通り地方では15万人が県内外で避難生活を余儀なくされています。

私たち、中通りに住む県民150万人も、高度の土壌汚染と低線量被爆を受けて「不安と脅え」の毎日です。子どもたちの健康と将来を考えた県外避難は、現在も続いています。あいコープふくしまでは、生産者と一体となって、安全な農作物の出荷に取り組んでいます。また、仮設住宅で避難生活を送る方々への支援も始まりました。

こうした状況下、生協の仲間よりいただいた支援見舞金は、大きな力になりました。また、全国からの支援の輪は、くじけそうになる気持ちを支え、子どもたちを守り、この地で暮らす力になると確信しております。放射能被害は長期間であり、復旧に向けて頑張る決意を述べて報告とします。

おおいた・決意の象徴「豊後梅」の植樹式実施

震災を機に交流の深まった福島県への支援を続けるコープおおいたは、11月15日、末永く支援する決意の象徴として大分県の県木である「豊後梅」の苗木を相馬市、新地町の小中学校に贈呈しました。

当日は午前相馬市立桜丘小学校、午後新地町立福田小学校で植樹式を実施。コープおおいたの松尾孝子組合員理事らは、両校の生徒の皆さんと力を合わせ、校庭の一角に苗木を植えました。

出席した桜丘小学校の4年生からは「実がなるのが楽しみ」、福田小学校の6年生からは「卒業式には花が見たい」と喜びの声が。

植樹後は被災地域を視察、さらに新地町小川公園応急仮設住宅で、今後も意義ある支援を行なっていくために住民の方にお話を伺いました。

両生協の、この間の交流は、
(http://d.hatena.ne.jp/coop_fukushima_oita/)
にて掲載中。「検索：コープふくしま コープおおいた 交流ブログ」



豊後梅の苗木を贈呈する、コープおおいた佐藤麻美組合員理事。



児童も一緒に苗木を植えた。

初収穫の白菜を、みやぎ生協店舗にて販売



高校生と一緒に白菜の試食をおすすめ。



店頭に並んだ仙台白菜。好評を博していた。

11月3日、みやぎ生協幸町店（仙台市）にて、復興のシンボルとして位置づけられている仙台白菜の販売を行ないました。

この日販売したのは、8月中旬に宮城県内の13農協で作付けし、初収穫を迎えた仙台白菜200kg。みやぎ生協、JA全農みやぎのほか、仙台白菜の栽培などに関わっている宮城県農業高校（名取市）や明成高校（仙台市）の生徒、また「食のみやぎ復興ネットワーク」※にご協力いただいているメーカーの方が店頭立ち、来店者に試食を提供しながら、仙台白菜をおすすめしました。

みやぎ生協店舗商品部農産担当統括の今野一彦さんは、「復活した宮城の伝統野菜である仙台白菜を広く販売・普及していくことで、生産者の皆さんの復興につなげていきます」と話していました。

※生産者や食品関連業者が連携し、地域復興を目指す取り組み。

日本生協連HP「復興支援ポータルサイト」連動企画（奇数号掲載）

フォトルポ 被災地は今

いわて生協宮古コープ 香木みき子理事×山田省蔵カメラマン

※日本生協連HP「復興支援ポータルサイト」にご寄稿いただいた組合員理事と一緒に現地を歩き、「被災地」の今を写真でお伝えします。（取材日時：11月15・16日、場所：岩手県宮古市）



©山田省蔵

「私にとって浄土ヶ浜(上写真)は、宮古市のシンボル、心の原風景です。多くの方が宮古市に足を運んでくださることが、私たちのパワーになります。地域に、多くの笑顔が戻るよう、今後も、さまざまな活動をしていきます」(香木理事)

震災から8カ月たった、現在の宮古市



©山田省蔵

津波の被害にあったところと、あっていないところの、思いの格差をどう乗り越えるかも、課題だ。



©山田省蔵

漁港では、サンマの水揚げが行なわれ、活気づいていた。

地域を盛り上げて復興へ



©山田省蔵

「私は、いわて生協マリンコープDORAを活動拠点とし、復興プロジェクト『かけあしの会』の中心メンバーとして、活動しています。その活動の1つとして、あわびの貝殻を削り、磨いて、アクセサリーを作っています。ボランティアの方や、スタッフ、そして、被災者の方と一緒に作ることで、地域に寄り添い、地域と一緒に盛り上げたいと思います」(香木理事)



©山田省蔵

皆で磨いたあわびの貝殻を丁寧に加工。

忘れないで、被災地のこと



©山田省蔵

「やませ」が吹く11月の田老町は、コートの前を閉めないと寒かった。



いわて生協 宮古コープ理事 香木 みき子さん

香木理事の寄稿文は、日本生協連HP「復興支援ポータルサイト」にて、ご覧いただけます (<http://shinsai.jccu.coop/contents/008/>)。

「できそうにないことでも、『つながり』があると、できそうに思えてきますし、実際にできているんです。生協の協力の力は、あらためてすごいと思います。被災者支援への熱い思いを絶やさず、協力の力で支え合い、共に前に進んでいきましょう」(香木理事)



©山田省蔵

宮古高校の生徒が書いた「共に生きる」が掲げられたDORA店内。

◆「福島応援隊」
第二弾！



「地産地消運動促進ふくしま協同組合協議会」（略称：地産地消ふくしまネット）では、「福島応援隊」取り組みの第二弾を開始しました。（第一弾の取り組みは、「つながろう」創刊号参照）

今回は福島りんご、会津の「みしらず柿」、伊達の桃のジュースです。福島の果物を食べ、贈ることで、生産者を応援していきます。

福島県内の企業、団体は、各社の従業員の自家用、ギフト用に利用でき、福島県外の本社（本部）、事業所（支社・支店）関連、関係者への利用を呼びかけることもできます。

ギフト依頼者、お届け先へは、オリジナルグッズとして「福島応援隊」サポーターズカード、応援隊ステッカーが進呈されます。

お申し込みは、指定の注文書にて、地産地消ふくしまネットに直接ご郵送ください。○詳細、注文書：

<http://www.fukushima.coop/fukunet/>

＜復興関連情報一覧＞

【岩手県】

いわて生協

- 森山良子ふれあいコンサート（後援、11/10）●陳為氏・二胡コンサート（南昌荘、11/11）●広場作りボランティア（11/19）●けせんコープの仮設入居者による手作り品などの供給企画（11月第3週）●ボランティアバス継続実施●原発・エネルギー問題を考える学習会②「原発問題の本質にせまる」（11/24）

【宮城県】

みやぎ生協

- 震災復興コンサート「チェンミンLIVE」（11/11）●塩釜市の離島・野の島への共同購入商品配達再開（11/16）●ふれあいお茶会&へちま水学習会（サンスター様ご協力・仙台港背後地住宅、11/18）●仙台白菜収穫祭（11/19）●「県復興計画学習会」（11/25）●ボランティア公演「打打打団天鼓」（岩沼店、11/26）●防寒対策でブレスサーモ10%引き企画●仮設住宅での灯油登録拡大

宮城県生協連

- 学習会「宮城県の食品安全行政の推進状況と原発事故後の新たな課題について」（消費者行政の充実強化をすすめる懇談会みやぎ主催、11/28）●緊急シンポジウム「どうする被災地の地域包括ケア」（介護ネットみやぎ主催、12/11）

【福島県】

コープふくしま

- ふれあいひろば（南相馬、11/12・26）●親子ひろば（コープマートあだたら、11/14・12/5）●コープおおいた・豊後梅の植樹式参加（11/15）●「たまり場こらんしょ大玉」（仮設住宅でのお茶会、11/16・30）●「マミーランド in 郡山市日和田地域交流センター」（11/17）●親子ひろば（コープマート保原、11/18）●青森県生協大会で報告（11/25）●コープカフェ（福島市、11/28）●「福島応援隊」第二弾（左蘭参照）

福島県生協連

- 福島県有機農業ネットワーク脱原発シンポジウム（11/27）●絆で復興!!ふくしまSTYLE&復興マルシェ（12/8）

【茨城県】

茨城県生協連

- 宮城ボランティアバス運行（11/5・26）●いばらきコープ・JA全農いばらき収穫祭（11/12・13）●被災地NGO協同センターの「まけないぞう」の取り組み支援開始（募金や針糸の提供受付）（11/17）

【コープネット事業連合】

- 復興支援金贈呈のための被災地訪問（気仙沼・釜石・宮古地区、12/7・8）

◎生協の震災復興支援の取り組み情報募集!!

皆様の地域での生協の復興支援に関する取り組み情報を、お寄せ下さい。
情報提供用専用メールアドレス action@coop-book.jp



つながろう CO・OPアクション情報
（隔週発行・次回12月9日発行予定）

発行 日本生活協同組合連合会（会員支援本部出版部）
〒150-8913 東京都渋谷区渋谷3-29-8 コーププラザ11F
Tel : 03-5778-8183 / Fax : 03-5778-8051
action@coop-book.jp